

■R02.04.10 市長記者会見内容

日時 令和2年4月10日（金）午後4時30分～4時50分

場所 庁議室

出席 市長、教育長、総務部長、危機管理監、健康福祉部長、教育次長、危機管理課長、市長公室長

酒田記者クラブ 11社（山形新聞、荘内日報、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、河北新報、NHK、SAY、YBC、YTS、TUY）

コミュニティ新聞社（記者クラブの承認により出席）

■市長発表内容

【本市における新型コロナウイルス感染症の確認事例について】

本日、山形県より本市在住者2名がPCR検査の結果、陽性であったことが発表された。本市において2例目と3例目となる。40代の女性と10代の女性でいずれも本市1例目の同居の家族となる。詳細については別紙に山形県発表資料を添付しているのでご参照いただきたい。

市民の皆様におかれましては、冷静に行動するようお願い申し上げます。加えて3つの密、密閉・密集・密接を避け、手洗い、咳エチケット等の徹底をお願いするとともに、感染拡大防止のため、不要不急の外出や感染が確認された地域からの訪問者との接触はできるだけ控えていただくよう改めてお願い申し上げます。

また、感染者に誹謗中傷など人権にかかわる被害が発生していると聞いている。感染した人は何の罪もない。新型コロナウイルス感染症に関して不当な差別、いじめ等の人権侵害はあってはならない。誤った情報や不確かな情報に惑わされたり、人権侵害につながることはないよう、正しい情報に基づいて、人権に配慮した適切な行動をお願いしたいと思っている。協力を是非よろしく願いたい。

危機管理課長／お手元に配布した31例目、40代女性の会社員。病状については現在調査中となっているが、症状はなしということで、先ほど山形県の記者会見で報告されている。行動歴、濃厚接触者については調査中となっている。4月3日以降は会社をお休みしている。県の記者会見でも質問があったが会社名については外部との接触があるような会社ではないということで公表されないということで伺っている。次の32例目をご覧いただきたい。10代女性、酒田市内の中学生。具体的にどこの中学校かは公表できないと県の記者会見で報告されている。症状については調査中となっているが、症状はなしということで報告があった。行動歴、濃厚接触者については調査中となっている。この2名については、以前の酒田市の1例目の同居の家族ということで先ほどの記者会見でやりとりがあった。1例目の方について3月30日から4月3日までマスクを着用

して勤務していた。会社以外の方と対面的な接触はしていない。4月4日以降は勤務をしていない。発症した以前2週間に首都圏に4回仕事で行っている。40代男性の濃厚接触者については、今日陽性が確認された2名のみということで、同僚5名については軽度接触ということで、現在経過観察中。何かあれば必要に応じてPCR検査をしていくということが報告された。

■フリー質問

記者／第31例目の40代女性に関して、外部との接触あるような会社ではないということだったが、外部との接触がないような部署だったという認識でいいか。

危機管理課長／詳細についてはわからない。

記者／中学生の女性だが、学校が休業中なのでほかの生徒とは接触がないということだが、学校の休業予定を変更することはないか。

教育長／中学生が感染したということで、早く回復することを心から願っている。4月19日まで学校が休業になっている。生徒も学校に出入りしていないという状況なので、通常学校が開いていたときの状況と異なる。そういう意味では、学校がクラスターのような危険な場所にはなっていないと考えている。報道発表にあるように行動履歴を調査しているということなので、どのような行動履歴が出るのかということは、後で総合的に判断して、19日からの臨時休業を再開できるのか、それとも更に延長したほうがいいということについては、中学生の状況を踏まえながら検討していきたいと思っている。

記者／今は当初のままだが、今後検討するということがいいか。

教育長／その通り。今、日々状況が刻々と変わっているので、今後のことについてはずっと検討を続けているが、新しい情報が入った時には、新たな検討材料が増えていくことになるので、そういう意味で日々変化する状況を踏まえながら、検討していくということになる。

記者／行動履歴は確認中だが、中学生だと友人と会っている可能性があると思うが、改めて中学生のいる家庭とか本人に学校を通じて何か周知していることはあるか。

教育長／今のところ、学校関係者や保護者にお知らせを出しているということはない。行動歴は詳細の調査が入ると思うので、そういった結果を待って対応したいと考えている。

記者／31・32例目の2人については、現在の状況として感染症指定医療機関に入院中ということだが、庄内地方の指定医療機関は日本海総合病院の4床だけと聞いている。今回の2人を含めて、鶴岡市で5人、酒田市が3人ということで全部で8人になっているが、5人目以降はどうなっているのか。他の県内の指定医療機関に行っているのか。また鶴岡市では、指定医療機関以外の医療機関に1人を入院させたという事実があるみ

たいだが、酒田市でもそういった準備とか体制を整えているか。

健康福祉部長／入院の状況について、報道にあるように県内で18床、庄内には基本的には4床の感染病床があるわけだが、県の方でも入院病床を拡充していただきたいということなので、それに応じて日本海総合病院の方でも順次受け入れているものと思う。基本的には入院調整は山形県の方で調整するということなので、我々の方にも情報はまだ入っていない。それから病院以外の宿泊の受け入れについては、県と調整させていただき検討を進めているところ。

記者／今回の2人については、県内の他の指定医療機関に在るということではないか。

健康福祉部長／今回の2人の対応についても県内に5つの受け入れ病院があるが、どこに入院されたかといったことについては県で調整をするということなので、日本海総合病院に入院しているのか、あるいは他の病院に在るのかについては、現段階では市の方には情報は入っていない。

記者／学校の再開時期を延ばすかどうか検討するということだが、現段階では19日まで休校になっているかと思う。これを延ばすかどうかはいつ頃を目途に判断される予定か。

教育長／今、日にちを特定することはできない。教育委員会の考え方としては、起きている事象を毎日のように検討していて、しかるべき時に、市の本部会議、それから医療の専門家会議での医師への相談、教育委員会の委員との相談ということで、いつ開催できるのか現在調整している最中。その日程が決まってくるといつまでに判断できるかということが決まってくる。そういう意味で調整している段階。

記者／いつ判断するかも調整中か。

教育長／はい。

記者／32例目に関しては、4月以降登校がなかったということだが、新年度に入って登校日はなかったか。

教育長／登校日というのは酒田市の中学校でそれぞれ設けていたが、この中学生が学校に来てないか確認中。登校日であるないに関わらず学校の方には来てないのではないかと考えているが、なお行動歴の内容については詳しく発表できないので、今のところ調査中とさせていただきたい。

記者／生徒たちに外出を自粛するようとか、友達と遊んだりすることに気を付けて欲しいというのは生徒たちに伝わったか。

教育長／子どもたちには、自分の身を守る行動をというようなことで、一定程度の行動の制限ということは図っていたが、絶対家から出ていけないとか、絶対友達に会ってはいけないとか、そういうものではないので、いわゆる3密を判断しながら行動ということになる。

教育長／せっかく記者会見なので私のほうから1つだけ。中学生の気持ちを考えると非常に不安だろうと思っている。自分の体、周りの人たちへの気遣い、そういったことを考えると、何よりも回復を願うと同時に心の面でも励ましていきたいと思っている。学校の体制としては、今後学校の再開や延長がどうなるかを検討すると同時に、先ほど市長のメッセージにあったように、いじめの対象になったり誹謗中傷の対象になったりしないように、私どもとしては教育上非常に重視してしっかり対応をしていきたいと思っている。そういったメッセージをどうか記者会見を通して申し上げたい。

以上